

マテリアリティ(重要課題)への取り組み

シチズングループのマテリアリティロードマップ(抜粋)

シチズングループは、持続的な成長に向けてグループで特定したマテリアリティのうち、4つに対する目標とKPI、施策をまとめた「グループマテリアリティの2030年ロードマップ」を策定しています。グループのCSR活動の重点領域でもある各目標への取り組みは、自己評価を行うことでPDCAに繋がっています。

以下、各マテリアリティの2020年度の目標・KPIに対する実績と評価、2021年度の目標について、ロードマップより抜粋して掲載しています。

ロードマップの詳細についてはWEBサイトをご覧ください。

https://www.citizen.co.jp/social/materiality/road_map/index.html

マテリアリティ	2020年度の目標・KPI	2020年度の実績	評価	2021年度の目標
品質コンプライアンスの強化	品質行動憲章の周知拡大と遵守状況のリスク把握	海外拠点への周知について、中国で継続し、タイ・ベトナムで開始。国内についてeラーニングによる認識状況を把握	○	実効的なモニタリング体制の整備
	品質行動憲章周知活動2回	新型コロナウイルス感染症(新型コロナ)拡大防止のため、オンラインで2回実施		
	eラーニング受講率90%	国内全社員を対象に実施。受講率97.8%		
人権の尊重と労働慣行	人権デューデリジェンスの構築及び、労働関連法令対応と遵守、安全衛生基本方針にもとづく活動	サプライチェーン上の人権リスクに関して、紛争鉱物への対応状況の調査・デューデリジェンスを実施	△	コロナ禍により実施できなかった施策等を実施
	人権eラーニング受講率100%	国内全社員を対象に実施。受講率96.0%		
	時間外労働の法令遵守	法令に違反する事例0件		
	2021年の人権デューデリジェンスの確立に向けた準備(負のリスクの特定、対処処置および運用)	事業活動上の負の人権リスク特定を開始した段階であるため、未確立		
持続可能な調達の推進	リスク特定に向けた情報収集	自己評価表(SAQ)や紛争鉱物・グリーン調達に関する調査を実施	○	SAQにもとづく実態調査の推進
	主要サプライヤー20%へSAQ配布	主要サプライヤー355社に送付		
環境イノベーションの促進	グループ主要事業会社でのグローバル環境マネジメントシステムの強化・統一(2021年度実現に向けた準備)	国内での統一認証(ISO14001)を再取得。国内での取り組みをグループ全体の環境マネジメントとして、海外に展開	△	新型コロナの拡大により実施できなかった施策等を実施
	・CO2排出量 ・スコープ1,2:5%削減 ・スコープ3:2.5%削減	削減目標を達成するとともに、東京事業所において再エネ由来電力を試験的に導入		
	水使用量5%削減	達成		
	再資源化率82.5%	達成(国内は99%以上)		
	全事業所で自然保護活動・地域環境活動実施	新型コロナ拡大防止の観点より一部中止し、59%の事業所で実施		

※ ○:達成 △:一部未達成

マテリアリティへの取り組み状況について

「品質コンプライアンスの強化」については、グループ品質行動憲章の海外への周知・展開として、中国の拠点で継続して実施するとともに、タイ・ベトナムで、品質行動憲章の内容を現地語にしたポスターの掲示を行いました。「人権の尊重と労働慣行」では、サプライチェーンや職場における負の人権リスクについて、特定を進めています。「持続可能な

調達の推進」に関しては、紛争鉱物に関するリスク調査を本格的に開始するとともに、説明会や監査のオンライン化といったコロナ禍への対応を行いました。「環境イノベーションの推進」については、国内の取り組みを軸としたグローバルの環境マネジメントシステムの統一を進めるとともに、事業における環境負荷削減に取り組んでいます。